

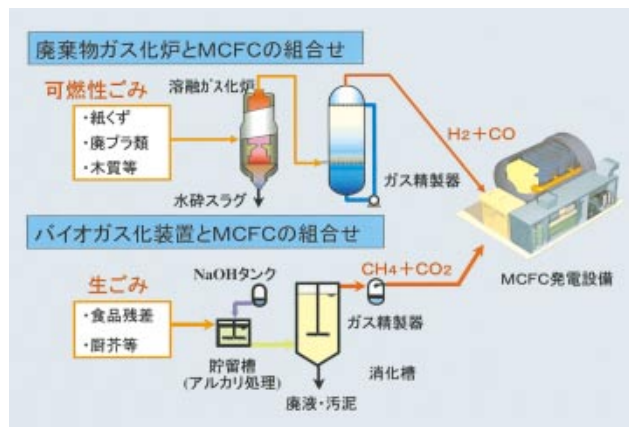
電力技術研究会シリーズ⑥ 電源専門部会

電源専門部会は、昭和50年8月エネルギー専門部会として発足し、昭和61年5月電源専門部会に改名し現在に至っています。メンバーは、発電本部原子力部の阪口主査を新たに迎え、大学関係委員6名に当社関係者です。主なテーマは、電力の安定供給、発電設備の高効率化・寿命延長、環境保全に資する先端的・革新的技術等で、特に15年度は以下の項目を活動方針として取り組んでいます。

- (1) 電力安定供給に資する技術の調査研究
- (2) 高効率化、寿命延長に資する技術の調査研究
- (3) CO₂排出量抑制等の環境保全技術の調査研究

平成15年4月に開催した第45回部会では、社河内委員より「ジェットポンプの性能改善に関する研究」と題して沸騰水型原子炉の再循環系に使用されるジェットポンプの性能に関する各種パラメータと改善方策について、鶴飼委員より「原子力プラント作業ロボットの動

向調査と機能評価」と題して原子力プラント用に開発されている各種点検ロボット・防災ロボットについて説明・議論をしました。当社からは「燃料電池の研究開発状況」について説明があり、技術的課題や建設コスト等について熱心な情報・意見交換を行いました。



MCFCによる廃棄物発電システム

東海工学教育協会について

当協会は、東海地方の産業界と工学系の大学・高等専門学校との連絡を密にし、大学・高等専門学校において工学教育の振興をはかり、さらに、東海地方のみならずわが国産業の発展に寄与することを目的に昭和27年に設立されました。

平成14年度末現在の会員状況は、学校が17校(大学12校、高専5校)、企業関係が31社、個人会員が354名で、現在、事務局を研究企画部企画グループが担当しています。

当協会の主な活動として、特別講演会、地区大会等があります。昨年度は、特別講演会として、名古屋工業大学長の柳田博明氏により、最近話題となっている「産官学連携の意義」について、連携の必要性、取り組み方など熱心な講演をいただき、多数の方々に参加をもって開催されました。また、地区大会は、名城大学を会場に開催し、特別講演として工学院大学長(日本技術者教育認定機構副会長)の大橋秀雄氏により、学界で話題となっているJABEE(技術者教育認定制度)に関して、「大学評価の新時代を迎えて～JABEEが果たす役割～」と題し、講演をいただき、JABEE認定を受けた学校から具体的な事例について、発表いただき、大学・高専の会員の参加のみならず企業会員からも、活発に質疑応答が交わされました。

今年度の特別講演会では、名古屋大学大学院の福和伸夫氏により、「東海地震の周辺状況と防災対策～百年に一度の巨大地震の続発をどう凌ぐか～」について



平成15年度 特別講演会

て、過去の地震発生状況から最近の地震に関する話題などの講演をいただきました。

また、地区大会は、11月10日に愛知工業大学を会場に実施する予定です。日本国際博覧会協会会長(トヨタ自動車名誉会長)の豊田章一郎氏を迎えて「愛・地球博と科学技術(仮題)」の特別講演を行った後、産業界および学界から多彩なパネリストを迎え、「技術者のキャリア形成支援における産学の連携」についてパネルディスカッションを実施する予定です。

今後とも、事務局では、産学連携をより一層活発にするため、大学・高専・産業界と連絡を密に取りながら、各界にとって有益となる活動を実施したいと考えています。